

令和2年度 第1回 湯沢市総合振興計画審議会 議事録

- 1 日 時 令和2年9月30日(水) 15:30~16:30
- 2 会 場 湯沢市役所本庁舎4階 会議室41
- 3 出席委員 【出席15名】
(敬称略) 阿部昭子(湯沢商工会議所)、高嶋伸夫(ゆざわ小町商工会)、
佐々木房子(こまち農業協同組合)、松田一彦(湯沢市観光物産協会)、
村上美奈子(湯沢青年会議所)、高橋章(湯沢市雄勝郡医師会)、
中山孝子(湯沢市社会福祉協議会)、後藤美喜子(湯沢市体育協会)、
土田忠明(湯沢地区自治協議会)、大山茂(湯沢7地区自治連絡協議会)、
戸部緑(雄勝野づくり連絡協議会)、小野田敏昭(皆瀬地域自治組織地域づくり委員会)、
寺門敏子(NPO法人サポートセンタービーイング)、築瀬栄美子((同)トマトクリエイション)、
齋藤あゆみ(地域おこし協力隊)
- 【欠席1名】
遠藤幸作(稲川地域自治連絡協議会)
- 4 案 件 第2次湯沢市総合振興計画の進行状況について



案件での発言要旨

案件について

(事務局から資料について説明)

○委員

第4章第1節①農業による産地交流参加者のうち、湯沢市に移住された方はいますか。

- 市 農業による産地交流は、昨年度まで年4回実施しており、首都圏の生活協同組合パルシステム会員の方々に募集し、参加していただいております。現在のところ湯沢市への移住までにはいたっていませんが、安全安心な農作物への関心が高く、またリピーターも多い状況であり、募集定員以上の申込数があります。親子での参加者が多く、継続して実施していくことで移住につながっていくものと考えています。
- 委員 少子高齢化や移住定住など様々な事業に取り組んでいますが、情報の発信が重要になってくると思います。市内外に情報を発信し、市民や企業の方々は住んでいるまち、歴史文化を知ることが大事であり、子ども達は郷土を学ぶこと、また職場体験等を通し市内の企業や仕事を知る、体験する機会が必要です。市外の方には、湯沢市の歴史文化や様々な取組に対して興味、関心を持ってもらうことが必要と考えています。
- 市 湯沢市の魅力について情報をもっと発信していくことは重要なことであり、同じ考えであります。湯沢市には特徴的な歴史文化、行事やお祭りがあります。現在コロナ禍で市外や外国への誘客に関する事業は行えておりませんが、各種情報発信ツールの活用と、ゆざわPR隊や地域おこし協力隊など発信する人も広げて、多種多様の情報を多くの人に届け、関心をもってもらいたいと思っております。
- 市 子ども達に、歴史や文化、地域のことなど様々なことに関心を持ってもらうには、動機付けが必要であり、見る聞く体験することが大事になります。教育現場でも頑張っていきますので、皆様にも情報発信と体験機会の協力をお願いします。